

岩下 淳子 様

ウインドウを閉じる

シラバス参照

講義名	調剤事務 I		
(副題)			
講義開講時期	春学期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	3時限
実務経験の有無	有		
実務経験の内容	都内の病院・クリニックにおいて、レセプト作成・点検業務及び医事コンピュータによるレセプト作成業務等を行う医療事務員としての実務経験		
対象	商学科		
備考	選択		

担当教員		
職種	氏名	所属
助教	◎ 岩下 淳子	専任

★学習到達目標	調剤報酬請求事務専門士の資格取得を目指し、医薬品の基礎知識や医薬品関連法規を理解習得します。難解な調剤報酬明細書作成を学ぶことで実務能力を養います。
★授業概要	医師は診断・治療を行い、薬物治療が必要と判断した時は処方箋を発行します。調剤薬局はその処方箋をもとに薬剤師が薬剤を調剤し提供する施設です。医師が治療を行い、薬剤師が薬剤提供を行う医薬分業の割合は年々増加しています。それに伴い調剤報酬明細書の発行枚数も増加しており、調剤報酬請求事務の教育が必要となっています。講義では、医薬品の基礎知識を学ぶとともに、調剤報酬請求の計算方法を学びます。
★学修成果・DPとの関連性	商学・経営学の知識/地域を支え、産業界の発展を目指す意欲/ビジネスの実務能力と鋭敏な感性/他者を慮る精神・不偏不羈の心

★授業計画表				
回	項目	内容	予習	復習
第1回	院内処方と院外処方の違い	院内処方と院外処方の違いを調査(グループワーク)	シラバスをよく読んでおいてください。	院内処方と院外処方の違いについて自分でまとめてください。
第2回	調剤基本料と薬学管理料	調剤基本料と薬学管理料の算定(グループワーク)	調剤基本料と薬学管理料についてプリントを読んでおいてください。毎回実施する小テストは70%以上正解できるように見直しておいてください。	調剤基本料と薬学管理料についてプリントの問題をもう一度解答してください。
第3回	調剤基本料の加算と薬学管理料の加算	調剤基本料の加算(受付時間に対する加算など)と薬学管理料の加算(小児特定加算など)の算定	受付時間に対する加算、小児特定加算などについてプリントを読んでおいてください。小テストを行います。70%以上正解できるように見直しておいてください。	受付時間に対する加算、小児特定加算など、プリントの問題をもう一度解答してください。小テストで間違えた問題は必ず理解できるまで解答してください。
第4回	剤形と薬剤料(内服薬)	剤形(錠剤・散剤・カプセル剤・シロップ剤・坐剤など)の違い 内服薬・屯服薬・外用薬などの違い 内服薬の薬剤料算定(グループワーク)	剤形についてプリントを読んでおいてください。	配布したプリントを読み返し、薬剤料(内服薬)をもう一度算定してください。
第5回	薬剤料(屯服薬と外用薬)	屯服薬と外用薬の薬剤料算定(グループワーク)	前回配布したプリントをよく読んでおいてください。	配布したプリントを読み返し、薬剤料(屯服薬と外用薬)をもう一度算定してください。
第6回	薬剤料と調剤基本料と薬学管理料	薬剤料と調剤基本料と薬学管理料の算定小テスト(薬剤料と調剤基本料と薬学管理料)	第2回目～第5回目に配布したプリントの問題を解答しておいてください。また、70%以上正解できるように見直しておいてください。	配布したプリントの練習問題(薬剤料と調剤基本料と薬学管理料)をもう一度解答してください。小テストで間違えた問題は必ず理解できるまで解答してください。
第7回	薬剤調製料と調剤管理料	薬剤調製料と調剤管理料の算定(グループワーク)	薬剤調製料と調剤管理料についてテキストを読んでおいてください。	配布したプリントの問題(薬剤調製料と調剤管理料)をもう一度解答してください。わからない問題は必ず質問してください。

第8回	薬剤調製料の加算	薬剤調製料の加算 (向精神薬加算、自家製剤加算・計量混合調剤加算)の算定	薬剤調製料の加算についてテキストを読んでおいてください。	配布したプリントの問題(薬剤調製料の加算)をもう一度解答してください。わからない問題は必ず質問してください。
第9回	薬剤調製料の加算(受付時間に対する加算)と調剤管理料の加算(受付時間に対する加算)	薬剤調製料の加算(受付時間に対する加算)と調剤管理料の加算(受付時間に対する加算)の算定	薬剤調製料の加算(受付時間に対する加算)と調剤管理料の加算(受付時間に対する加算)についてテキストを読んでおいてください。	配布したプリントの問題(受付時間に対する加算)をもう一度解答してください。わからない問題は必ず質問してください。
第10回	レセプト作成	処方箋問題集の処方箋1のレセプトを作成	第2回目～第10回目に算定した問題をもう一度算定してください。	処方箋問題集の処方箋1、2を算定し、レセプトを作成して下さい。
第11回	受付1回につきの処方箋	2枚の処方箋を同時に受け付けた場合(同一医療機関の異なる医師による処方)の算定 小テスト1(嚥下困難者用製剤加算の算定)	処方箋問題集の処方箋3～5を算定してレセプトを作成してください。	今回の授業で算定した処方箋をもう一度算定しレセプトを作成してください。小テスト1で間違えた問題は必ず理解できるまで解答してください。
第12回	薬学管理料(外来服薬支援料2)	薬学管理料(外来服薬支援料2)の算定 小テスト2(特定薬剤管理指導加算1の算定)	外来服薬支援料2についてテキストを読んでおいてください。処方箋問題集の処方箋6～8を算定してレセプトを作成してください。	処方箋問題集(外来服薬支援料2)の問題をもう一度解答してください。わからない問題は必ず質問してください。小テスト2で間違えた問題は必ず理解できるまで解答してください。
第13回	薬剤調製料の加算(計量混合調剤加算の算定例外)と調剤管理料の加算(重複投薬・相互作用防止等加算の算定)	計量混合調剤加算(シロップとドライシロップの算定例外)の算定 小テスト3(重複投薬・相互作用防止等加算の算定)	処方箋問題集の処方箋9、10を算定してレセプトを作成してください。	処方箋問題集(外来服薬支援料2)の問題をもう一度解答してください。わからない問題は必ず質問してください。小テスト3で間違えた問題は必ず理解できるまで解答してください。
第14回	薬剤調製料の加算(計量混合調剤加算の予製剤)	小テスト4(計量混合調剤加算の予製剤の算定)	授業内で解答したプリント、処方箋問題集、小テストをもう一度算定してください。	小テスト4(計量混合調剤加算の予製剤の算定)の問題をもう一度解答してください。
第15回	試験対策問題(実技)	小テスト5、6(在宅医療)	これまで授業で学んだところを中心に学習してください。テキストをもう一度読み、処方箋問題集も自分でもう一度解答してください。	試験対策問題(実技)はもう一度解答してください。また、わからない問題は必ず質問に来てください。

★授業形式・アクティブラーニング比率	講義 80%、アクティブラーニング20%
★評価方法・評価基準・フィードバックなど	定期試験80%・小テスト10%・平常点(受講態度・課題提出)10% 課題のフィードバック:所定の書式を用い、学務課を通して個別に応じます。希望者は成績問い合わせ票に必要事項を記入し、学務課に提出してください。
★テキスト	調剤報酬請求事務専門士検定協会 編『調剤報酬テキスト』(株式会社日本医療総合支援評議会) 定価3,200円(税別) 調剤報酬請求事務専門士検定協会 編『処方せん問題集』(株式会社日本医療総合支援評議会) 定価2,500円(税別)
★参考文献	なし
オフィスアワー(授業相談)	本館3階の掲示板参照
★学生へのメッセージ	調剤報酬請求事務専門士の資格取得を目指す場合は、1年次(春学期)で薬局法規、1年次(秋学期)で調剤事務Ⅱ、2年次(春学期)で調剤事務演習を学びます。また、就職を視野に入れている場合は、必ず、1年次(秋学期)に調剤事務コンピュータを履修しましょう。調剤事務Ⅰ・Ⅱと調剤事務コンピュータを並行して学ぶことで理解が深まります。授業内でWebテストを実施し、その回答を共有し意見交換をすることがありますので、タブレットやスマートフォンを用意してください。
★事前事後学習(内容・時間)	毎回宿題を出します。誤ったところや疑問点は速やかに解決することで理解が深まります。わからない時は必ず質問に来てください。また、予習は60分、復習は毎日30分(1週間に150分)以上してください。

[ウインドウを閉じる](#)